

第 36 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2016 年 6 月 14 日(火) 10:00~12:00
場 所：横田地区コミュニティセンター 集会室
出席者：16 団体 19 名
文 責：佃（事務局）

1. 事務局連絡（10:05~10:10）

➤ 2015 年度支援概況調査 結果公開のお知らせ

【調査対象期間】2015 年 2 月~2016 年 1 月

【調査実施期間】2016 年 2 月~3 月

【回収数】アンケート 48 団体、活動履歴 41 団体

集計結果の取りまとめが完了し、PF のポータルサイトにて公開した。ぜひご覧頂きたい。なお、「復興支援活動」の概況調査としては、今回が最後となる。

2. 活動報告（全体）（10:10~10:50）

- ・各団体より 5 月以降の活動報告、協力依頼およびイベント告知など
- ・質問あれば適宜。各団体 2 分程度で報告。

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第 36 回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載。

◆活動報告

1~2	陸前高田市復興支援 連絡会／志賀	・ 5 月の仮設世帯数：1,183 世帯（独自調べ） ・ 5 月のお茶会：34 回/186 名 内、3 回/14 名が公営住宅（西下・柳沢前・田端で各 1 回） 5/20 に田端で初のお茶会を開催。現在 6 世帯が入居しており、5 名の参加があった。高齢独居が多い。お茶会の傾向として、手芸など手仕事を希望される方が多く、定期的に支援団体による手芸教室等を開催。 ・ 5 月の仮設（47 団地）と公営住宅（9 団地）見廻り：256 回（チラシ配布を除く） ・ 会報「おはようさん No.12」を発行 ※資料参照
3	岩手大学 三陸復興・ 地域創生推進機構／ 佐々木	・「こころの相談ルーム」について ※資料参照 新しいリーフレットができた。4・5 月は約 15 件相談があった。利用者は、釜石が多いが宮古の方もいる。利用のニーズがあれば、紹介をお願いします。

		<ul style="list-style-type: none"> ・研修（無料）もやっているのでも要望があればお伝えいただきたい。
4~5	もっちいと森の仲間たち／望月	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の苗の配布を継続中。市内の子ども関係の施設や高田高校にも配布。新たに、長部保育所とのつながりも出来た。 ・高田大隅つどいの丘商店街4周年イベントで、まごころネットと地元の方に手伝ってもらい、綿あめとポップコーンの販売を行った。イベント等でどうしてもニーズがあればお声掛けください。 ・市生涯学習課が実施する夏休みの冒険キャンプの手伝いをする予定。
6~7	NEC ネットエスアイ／村上	<ul style="list-style-type: none"> ・6/16（木）で営業（稼働）開始から1,000日記念日となる。 ・ひまわりを植えたので是非見に来てください。みなさんの利用をお待ちしております。
8	マルゴト陸前高田／大久保	<ul style="list-style-type: none"> ・民泊：公式として初めて6/1~3に実施。広田を中心に米崎・小友で、2泊3日約100名の中学生を受入れた。お別れ式では、涙する姿も見られた。受入れ家族8~9割が楽しかった様子。ちょっとした失敗談はあったが、良い体験をして頂いている。9~11月には、約1,000人の中高生を受入予定。 ・復興最前線ツアー：市内の震災遺構（一本松・ユースホテル・タピック45・気仙中学校等）を中心にツアーを企画・運行している。2年前から市都市計画課と商工観光課と協力して、グラウンド許可や防潮堤や嵩上げ地の見学許可も得て実施。団体スタッフ立ち合いのもと、ヘルメット着用し遺構の中に入ることが出来る。学生から一般まで大変人気がある。希望があればお問合せください。※有料です ・外国人への対応：海外（特に英語圏）からも陸前高田への関心が高く、去年は400人程来ている。海外の方々に陸前高田の様子を知ってもらう環境（ハード・ソフト面ともに）を整えていきたい。
9	高田大隅つどいの丘商店街／山本	<ul style="list-style-type: none"> ・6/5 商店街4周年イベントを開催。来場者は延べ200人。もっちいといわて生協さんにもご協力を頂いた。天候にも恵まれ、20mの巻き寿司企画やその他企画も盛り上がり、たくさんの方で賑わった。 ・7/9（土）きらりんきっず主催の夕涼み会を開催予定。広報の協力をよろしくお願いします。
10	陸前高田まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・6/20（月）19:00~高田地区市民会議を開催予定。

	協働センター／三浦	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も主催講座を開催する予定。初回は7月末。チラシができたならご案内するので、住民のみなさんへの広報協力をお願いします。
11	教育委員会 生涯学習課／佐々木	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学級：市内の保育所・園、子育て支援センター、小中学校の保護者を対象にした学習を計画。小中学校では、6月末から7月まではAED講習（夏休みのプールを前に）の要望が多い。 ・高齢者学級・成人教室：6～12月頃の間、高齢者・成人を対象に、市内の各地区公民館にて学習会を開催。東海新報や広報に掲載されているのでご覧ください。
12	陸前たがだ八起プロジェクト／池田	<ul style="list-style-type: none"> ・「伊藤忠子どもの夢カップ（少年野球大会）」（伊藤忠商事主催）の運営サポートを行った（NICCOからの引継ぎ）。今回は、地域住民の観戦用にテントとイスを設置。 ・6/12「男の料理教室」（味の素と共催）が54回目を迎えた。味の素が行う「赤いエプロンプロジェクト」が本になり、弊団体との取組みも掲載されている。良ければご覧ください。
13	遠野山・里・暮らしネットワーク／林	<ul style="list-style-type: none"> ・6/8 中田災害復興公営住宅で健康と美容をテーマに、ネイルアートと人形劇・わんこダンスを実施。20名程の参加があり、進行は住民の女性が行った。中田災害復興公営住宅では、自分たちで花見を企画するなど盛り上がっている様子。 ・「ほっとひといき事業」：予算確保・実施の目途がついた。7月より月1回で実施する予定。 ・JICAとのつながりで、来週から（2週間程）ミャンマーの青年研修の防災コースとして遠野・大槌・釜石・陸前高田を廻る。
14	パクト／桑久保	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートステーション事業：析ヶ沢災害復興公営住宅への入居（7月末）を皮切りに転出入増加が予測される。そこで、ボランティアの募集だけでなく、地元住民の困り事やニーズを幅広く拾える体制づくりを再構築するため、今月来月で、住民への広報を強化する。 ・6/9 市保健課の企画で、ノルディックウォーキング（全5回）を実施。二又復興交流センターは会場を提供。介護予防が本来の目的だが、地元住民だけでなく、スタッフやお客様も参加出来る企画にしていきたい。 ・二又復興交流センターが、7/10（日）で開所から3年を迎える。

15	ヤルキタウン／熊谷	<p>花画廊を中心に、様々な活動（盛岡のシニア大学や個人）の受入れを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸広場（仮設住民に開放している家庭菜園）は、暖かくなり活発に利用いただいている。 ・今年の夏祭りは、他のイベントと重ならないように 8/20（土）で調整中。当日のスタッフを募集するのでよろしくお願ひします。
16	教育支援チーム「まつ」／佐々木	<p>6/2（木）に市内小中学校の校長先生（11校中6校）と子どもたちの様子についての情報交換を行い様々な問題が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災後、各学校に頂いた支援金を6年間で使い切るという考え方で、PTA会費や修学旅行の補助に充ててきたが、来年度からは一切なくなる。 ・これまで、被災した小中学校の家庭への就学援助費が年収に関係なく出ていたが、今年から年収に合わせて打ち切るという話があった。今年は何とか続くようになったが、来年からはなくなってしまうのでは。 <p>→今後更に経済的に厳しくなる家庭が増えるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に馴染まない子どもへの支援として、市の予算で支援員を雇っているが（多い学校では2～4人）、任期1年で継続出来ないため、子どもたちが馴染んだ頃に終了となってしまう、学校側も支援員も悩んでいる。自団体でも訴えていきたいと考えている。
17	夢ネット大船渡／河野	<ul style="list-style-type: none"> ・陸前高田では、仮設と公営住宅で手芸講習を行っている。 ・三鉄の企画の「ワイン列車」にまだ空きがあるので、良かったらご参加ください。
18	民生部 地域福祉課／鶴嶋	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向け給付金：5/17に申請を開始し、4週間で対象者の半分（約1,500件）の申請を受付けた。7/19（火）まで受付けている。 ・緊急通報用携帯機器について ※資料参照 <p>5月末時点で、61人がサービスを利用中。申請から設置まで2～3週間かかる。無料で設置できる。被災者向けではなく、一般向けの緊急通報装置もあるのでご相談ください。</p>
19	復興庁 岩手復興局／越前	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、被災者支援総合交付金の拡充を行っている。被災者の見守りや相談支援・コミュニティ形成、こころの復興事業に取り組んでいただきたい。また、皆さんから地域の課題などあれば上げていただきたい。

3. 活動分野毎の討議・意見交換（グループ議論）

<1G 地域・コミュニティ>

- ・ 今後の災害公営住宅等の状況確認
災害公営住宅の最新の整備状況と仮設住宅の集約の情報を見ながら、状況を確認。
仮設の自治会構成が変化してきている。仮設は、最終的になくなるので、自治会を維持していくモチベーションを保つことが今の課題ではないか。
- ・ 仮設住宅から災害公営住宅への移行期における支援側の活動の変化について
公営住宅は恒久的な住まいとなるので、いずれは住民や地域による主体的な動きになるためのサポートであるべき。一方で、活動分野によって継続サポートが必要など、立場や活動があるので、それを理解することが重要との意見も出された。その上で、どう協働するか協力できるかを探るためにも、こうしたネットワークの場が必要という話になった。
これからが、被災者支援からコミュニティ支援になっていくタイミングでもあるので、次回は、市内の仮設住宅と災害公営住宅でどのような団体が活動しているかを洗い出し、支援の差などを再確認する。併せて、各団体が考えている「復興支援の終わりの形」についても考えを持ち寄り共有する。

<2G 子ども・教育／女性・子育て>

- ・ マッピングについて
竹駒町で、マザーリンク・ジャパンがフリースクールを開始？（詳細不明）
- ・ 子育て支援施設等への訪問について
もっちいが野菜の苗の配布を通し各所を訪問。その時の様子を共有。
- ・ 高田高校（JRC）のつながりに関して
市教育委員会が行う夏のキャンプ（小学生）をもっちいが手伝うことになっている。
来週、教育委員会と打合せの中で、ボランティアで高校生を巻き込めないか相談する予定。
- ・ その他
市内の小中学校の統廃合について今後動きがでてくるので情報収集していこう。

<3G 商工・観光・産業・その他>

- ・ 市内の概況について
 - ・ 玉乃湯が再開
 - ・ 産直はまなすがリニューアル
- ・ 市内の観光に関して
一本松茶屋に観光等々でたくさんのお客様が来ているが、一本松までのルートが分からない人や、中には、一本松がなくなったとっていたり、一本杉だと思っている人

もいる。陸前高田にいる人が当たり前に思っている情報を、一時的に訪問した方々にどれだけわかりやすく端的に表示できるかが課題。

→簡単ではあるが、大きな看板があれば良いのではないかという意見が出た。

- ・ マルゴト陸前高田の取組み（民泊や復興の最前線ツアー）に対し、グループとしてどういった関わりが出来るか。

たくさんの方が来るので、どれだけ経済効果をつなげていけるかというところ。

- ・ 「アンバランスガイド」について

食ベログのように、市内のお店や場所に行って率直な感想やおススメを載せる。

公的なお金を使うと無難な情報しか載せられないが、正直な感想を載せたい。何かグループで作ってみようということになった。

4. その他

- ・ 陸前高田商工会 公開連続勉強会「地域のヒトとモノを輝かせる『メイド イン アマガサキ』のご案内 ※資料参照

日時：6/23（木）14：30～17：30

場所：陸前高田市コミュニティホール 中会議室

市内事業者の他、市民やNPO、企業等陸前高田に関わっている人も参加できるのでぜひご参加ください。

※定員 50 名なので、参加の場合は各団体代表 1 名程度でお願いしたい。

- ・ 市被災者支援室に佐賀県から届いたひまわりの種を皆さんにも分ける事ができる。欲しい方は持って帰ってください。（望月）

（市内の観光についての意見）

- ・ いわて国体で沿岸にもたくさんの方が来るので、上手く陸前高田をアピールできないか。（望月）

- ・ 高田松原津波復興祈念公園への要望を早めに出した方が良いのではないか。（望月）

【次回の開催日程】

- ・ 第 37 回 支援連絡調整会議 7 月 12 日（火）10：00～12：00 ※詳細は別途連絡